

今日の給食は、宮城県産牛肉の牛丼、小松菜のおひたし、しめじと油ふの味噌汁、ご飯、牛乳でした。なんと今日は「宮城県産牛肉」が登場したのです！さすがに給食センターの皆様も興奮したのか、いつにもまして熱いメッセージが給食日より「いただきます」にありましたのでご紹介します。

「今日は宮城県産の最高級クラスの牛肉を使用した牛丼です。(中略) 通常の給食では使用できないような高級な牛肉なので、給食センターの調理員さんは緊張しながら『おいしくな〜れ』とたくさんの愛情を込めて調理をしました」

(下線は筆者による)

どうですか？調理のプロの方々の興奮が手に取るように伝わってきます。わたしは、お便りを読んだ時点で味の確かさを確信しました。一口味わってみると、とても柔らかく、旨味とコク、甘みなど牛肉本来の味を感じました(素人ながら)。味付けも素材の良さにマッチしていてとてもおいしかったです。子供たちも大喜びで、盛り上がっていました。職員室でも、「次は、すき焼きもいいよね？」とか「米沢牛と前沢牛の違いは…」と牛肉談議に花が咲きました。毎日、「わくわく、おいしく、たのしく味わえる」給食の時間は、学校の大切な時間です。

